

地域再生計画評価調書（令和5年度）

■大阪市地域再生エリアマネジメント計画

●大阪駅周辺地区における数値目標及び目標達成度

評価指数 (KPI)	事業開始前	2019年度 増加分 (1年目)	目標数値、実績値及び目標数値に対する達成度								2023年度KPI達成状況及び分析	
			2020年度 増加分 (2年目)	2021年度 増加分 (3年目)	2022年度 増加分 (4年目)	2023年度 増加分 (5年目)	2024年度 増加分 (6年目)	2025年度 増加分 (7年目)	2026年度 増加分 (8年目)	KPI増加分 の累計		
目標1 エリアマネジメント団体の新規法人化	目標	—	1	0	0	0	0	0	0	0	1	今年度新たに1団体が法人化され、大阪駅周辺地区においてエリアマネジメント活動が活性化されていることが伺える。
	実績	1	2	1	0	0	1				4	
	達成度										400%	
目標2 都市再生推進法人の新規指定	目標	—	0	0	1	0	0	0	0	0	1	今年度新たに都市再生推進法人に指定された団体はないが、すでに目標を達成していることから、大阪駅周辺地区におけるエリアマネジメント活動が活性化されていることが伺える。
	実績	1	0	0	1	0	0				1	
	達成度										100%	
目標3 歩行者通行量の増加 (人) ^{※1} ^{※2}	目標	—	—	15,000	5,000	800	800	800	800	800	24,000	歩行者通行量は増加傾向にあり、賑わいの回復傾向がみられる。
	実績	—	—	▲34,000	13,500	14,500	1,000				▲5,000	
	達成度										0%	
目標4 大阪駅周辺地区における商業施設等の売上高の増加 (千円) ^{※2}	目標	—	—	75,000	25,000	—	—	—	—	—	100,000	令和3年度のイベントへの参加者アンケート調査の結果、大阪駅周辺地区での消費額は1人当たり平均約6,600円であり、今年度のイベント来訪者が18,661人であることから、商業施設等の売上高は約123,162千円であると見込まれ、昨年度から増加している。
	実績	—	—	64,092	29,073	4,158	25,839	—	—	—	123,162	
	達成度										123%	
目標5 大阪駅周辺における地域来訪者等利便増進活動計画(案)に対する想定受益事業者の同意率 (%)	目標	—	—	—	67	—	—	—	—	—	67	今年度より大阪駅周辺地区地域来訪者等利便増進活動計画を実施し、同計画における受益事業者の同意率は100%であった。今後も大阪駅周辺地区において、さらなるまちの活性化が期待される。
	実績	—	—	—	—	100	0				100	
	達成度										149%	

※1：地方創生推進交付金事業開始前の通常時歩行者通行量：63,000人

※2：目標値及び実績値は前年度からの増加分

●評価年度において実施した事業

<p>■事業名称 梅田あるくフェス2023</p> <p>■開催期間 日程：2023年10月1日(日)～10月31日(火)</p> <p>■会場 大阪梅田各所</p> <p>■事業内容</p> <p>○イベント内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ススメ！私のぼ活ライフ」をテーマに、「運動」、「食」、「心」などの視点から歩くことをきっかけに心や体、そして暮らしも心地よくアップデートさせる。 ①まち巡りラリー(10月1日～10月31日) スマートフォンを利用し、梅田エリア特設会場5箇所に設置されたラリーポイントを巡り、ポイントを集めるウォークラリーの開催。 ②ヘルシーラボ / 会場：JR大阪駅5F 時空の広場(10月1日) 「身体」の健康を主なテーマとして、体験ができるプログラムを展開。 ③フードマーケット / 会場：阪急サン広場(10月14日) 「食」の健康を主なテーマとして、体験・購入ができるプログラムを展開。 ④リフレッシュパーク / 会場：阪神梅田本店東側歩道(10月28日) 「心」の健康を主なテーマとして、体験やりフレッシュができるプログラムを展開。 <p>○調査内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺歩道の歩行者交通量調査 事業開始前と同一箇所での各会場イベント開催日(10月1日、14日、28日の3日間)の歩行者通行量を測定。 来訪者アンケート調査 調査項目 梅田地区への来訪頻度、よく立ち寄る商業施設、買い物・飲食の出費額等について、梅田あるくフェス参加者を対象として実施。 調査方法 梅田あるくフェス参加者を対象とした調査 会場イベント開催当日のイベント参加者及びまち巡りラリーの参加者を対象
--

●評価年度における事業の結果

<p>■イベント結果</p> <p>来訪者(計測方法：各イベント会場での計測の合計)：18,661人</p> <ul style="list-style-type: none"> イベント参加企業、団体との連携 参加・協力団体：32団体(134名) 地域連携 大阪府健康づくり支援プラットフォーム整備事業等である、大阪府民の健康をサポートするアプリ「おおさか健活マイレージアスマイル」と連携し、アスマイルアプリ及びwebページで「梅田あるくフェス」の開催告知を行い、各会場のInfoブースではアスマイルのチラシ設置やイベント来場者へのアスマイルポイントのプレゼントなどを行った。 広報連携 以下の各媒体によりイベント情報を掲載。 ・OOH・サイネージ等 15箇所 ・HPでの掲載 12社 ・SNS投稿 <p>■調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業開始前と同一箇所でのイベント当日の歩行者通行量(10時～19時の9時間交通量)：58,000人(前年度から1,000人の増) 来訪者アンケート調査サンプル取得数 梅田あるくフェス参加者を対象とした調査：308サンプル <p>■事業分析</p> <p>今年度は新たにまち巡りラリーポイントを2箇所追加及び平日を中心に楽しめるコンテンツを提供する等、イベント内容を拡充して実施することにより、大阪駅周辺地区における歩行者通行量及び商業施設等の売上高が増加した。また、周辺企業との連携及び清掃活動を実施することでイベント周知を強化すること等によりイベント来訪者が増加した。</p>

●評価年度における評価結果

<ul style="list-style-type: none"> 今回実施した際の参加者アンケート調査により、今回のような健康イベント開催が定常化したら、「イベントに参加する」「梅田に行きたい気持ちが高まる」と回答した人は全体の約98%と昨年度に引き続き高い値となっており、事業の有用性は確認しているところである。 継続的なイベントの開催等により、イベント来訪者が増加しているため、引き続き実施することにより地域価値の向上が期待できる。 今年度より地域再生エリアマネジメント負担金制度を適用し、大阪駅周辺地域来訪者等利便増進活動計画に基づき「梅田あるくフェス2023」を実施したが、5つの目標項目において目標値を達成しており、大阪駅周辺地区においてさらなるまちの活性化が期待できる。
--